

「ショルダーフォン」 展示票

2020年 4月 15日

工房 Nishi - 西村志郎

- ・「ショルダーフォン」 日本移動通信/三菱電機 OEM 1985年式
(Ser. 22861、1990年製造。公益財団法人つくば科学記念財団の
科学万博 つくば'85 メモリアルゾーンに貸し出し展示中)



写真 - 1 全体像

「ショルダーフォン」の正式名称は「MT10形 自動車電話移動機」。即ち、法的には自動車電話だが、内蔵の小型充電電池と肩掛けベルトにより、車外への持ち出しが可能、という位置付けだった。

無線機本体、充電電池、ハンドセットが一体となって、ワンタッチ式の充電ベースの上に収まり、その全てが、金属製防護ケースに収まる構造。ケースが極めて頑丈な造りなのは、設置されるクルマのトランクルームの奥で、ゴルフバッグなどに傷つけられるのを防ぐため。(貸出し品には含まれていない。)



写真 - 2 内容構成物

本体を構成するパーツ。手前から、ハンドセット、無線機本体、次は左側が充電電池、右側が DC 12V電源線とアンテナに接続する同軸ケーブルが覗くワンタッチ式の充電ベース。



写真 - 3 金属製防護ケースに収まった姿



写真 - 4 「無線局免許証票」と「技術基準適合証明」

無線機本体は外部にビスが一切見えない嚴重な封印構造の上、側面に郵政省の印章入り「無線局免許証票」が、底面には業界団体の「技術基準適合証明」シールが貼付される厳しい時代だった。

また、写真にはないが、構成部品としてはこの他に、クルマのトランクリッドに取り付ける先端がオレンジ色の特徴的なアンテナがあり、ハンドセットは、運転席や後部座席から手が届くところに増設可能。



写真 - 5 通電時の背照パネル